

令和4年3月31日(木)、沖縄県公安委員会定例会において、沖縄県警察から次の事項について報告があり、これを受けて審議等を行いました。

今週のトピック

警察から「JA共済連沖縄からの「ストップマーク」寄贈について」の報告がありました。

1 質疑等

(1) 沖縄県警察委嘱カウンセラーによる被害者支援講話について

警務部から前記事項について、「性的マイノリティなど多様な個性に配慮した対応要領について教養を深めることを目的に、県警察委嘱カウンセラーによる被害者支援講話を実施した。」旨の報告がありました。

公安委員から「多様な個性に配慮した被害者支援の教養は、今後も継続していただきたい。また、被疑者を留置する際に性的マイノリティの問題が生じる場合があると思うので、今後の課題として検討していただきたい。」旨の意見がありました。

(2) 令和3年中における県内の犯罪情勢等について

生活安全部から前記事項について、「令和3年中における刑法犯の認知件数は、総数では前年対比で減少し過去最少となった。体感治安に影響を及ぼす犯罪は、殺人、強制わいせつ及びサイバー犯罪が前年対比で増加したものの、その他は減少した。引き続き各種施策を推進し、体感治安の改善に努めてまいりたい。」旨の報告がありました。

公安委員から「新型コロナで生活様式が変わり、犯罪や被害の傾向も変わると思う。時代の変わり目にある中で、警察は、新しい視点で柔軟に物事を捉えていただきたい。」旨の意見がありました。

(3) 令和3年度第2回サイバー犯罪等対処能力検定の実施結果について

生活安全部から前記事項について、「サイバー犯罪等の捜査に必要な能力を習得させ、対処能力の向上を図ることを目的に検定を実施した。」旨の報告がありました。

公安委員から「サイバー犯罪は、複雑化、高度化している状況にあり、それを取り締まる職員の能力向上は非常に重要である。今後とも、組織を挙げて取組を推進していただきたい。」旨の意見がありました。

(4) 令和3年中の全国の110番受理状況について

地域部から前記事項について、「全国の110番受理件数は、前年対比で約27万件増加した。受理件数において、当県は全国でも上位の位置にあり、警察署別では那覇署が全国2番目となっている。」旨の報告がありました。

公安委員から「那覇署は限られた人数で通報に対応しているのだろうが、全国上位にいる他県の大規模警察署とは異なる要因があるのかもしれない。相変わらず急を要さない相談事案で110番通報されているようだが、110番通報の適正な利用に関する広報は継続して行っていただきたい。」旨の意見がありました。

(5) 令和3年中窃盗犯の検挙状況について

刑事部から前記事項について、「令和3年中の全窃盗犯の検挙率は、前年対比で1.8%上昇し、平成19年の捜査第三課設置以降、最も高い数値となった。また、重要窃盗犯の認知件数、検挙件数及び検挙人員は減少したが、検挙率は上昇した。」旨の報告がありました。

公安委員から「今後ともしっかりと捜査をし、一つでも多く検挙に結び付けてもらいたい。」旨の意見がありました。

(6) JA共済連沖縄からの「ストップマーク」寄贈について

交通部から前記事項について、「JA共済連沖縄から、交通事故防止事業として県警察に「ストップマーク2,000枚」が寄贈された。県内全域の小学校通学路を中心に、信号機のない横断歩道に順次、貼付予定である。」旨の報告がありました。

公安委員から「可能であれば、デザインを色々な人から募集して、地域別に特色を出すなど子どもたちが関心を持つような工夫を凝らして欲しい。交通安全教育も引き続き推進してもらいたい。」旨の意見がありました。

(7) 集中警備訓練の実施について

警備部から前記事項について報告がありました。

公安委員から「実際に訓練を実施して、初めて改善すべき点が見えてくる。今後も、定期的に訓練を実施して、装備品の改良や操法の練度向上に努めてもらいたい。」旨の意見がありました。

2 本部長総括

本部長から「明日4月1日から新年度がスタートする。新体制でも引き続き、組織を挙げて諸対策に取り組む所存であるので、これからも御指導願いたい。」旨の総括がありました。

3 決裁・報告等(5件)

捜査第一課

- ・ 捜査第一課関係報告

警備部

- ・ 警備情勢について

国境離島警備隊

- ・ 警戒警備について

総務課

- ・ 公安委員会定例会会議録の作成について
- ・ 公安委員会定例会会議録のホームページ掲載について

4 決定・裁定(1件)

運転免許管理課

- ・ 自動車運転免許の行政処分について